



『ものの言いかた西東』

キャリア教養学科 准教授 松田 典之

福島市に住みはじめて、半年近くになりました。一人暮らしなので、よく近所のスーパーに買い物に行きます。そこで気がついたのは、福島市の少し大きなスーパーには、必ず甘酒のコーナーがあるということです。福島

島の人は甘酒が好きなのかと思い、学生の皆さんに聞いてみたところ、「それが普通と思っていたので、意識して考えたことがない」という反応が多くありました。人の消費行動には地域差があり、意外と当事者は意識していないことが多いということを実感しました。

今回、ご紹介する『ものの言いかた西東』は、ものの言い方は個人の性格に帰せられるものではなく、地域によって違いがあり、それが個性の差として誤解されているのではないかという仮説を検証していくものです。特に、近畿地方と東北地方のものの言い方の違いが顕著であることから、この2地方の比較が多く取り上げられています。

例えば、事例として、人からお金を借りたときに、どんな反応を返すかという調査があって、それぞれ「感謝」（ありがとう等）、「恐縮」（申し訳ない等）、「感謝」「恐縮」両方言う、「感謝」「恐縮」両方言わないに、地域ごとに大別されるそうです。「恐縮」を広い意味でのお礼表現とするならば、両方言わない地域は、西日本にはほとんどなく、東日本では東北・関東に集中しており、地域差として注目しても良いと著者は言っています。

では両方言わない地域は「お礼めいた」ことを言わないのでしょうか。そうではなく「良かった」「助かった」と言い、自分がどうであるかを言うことでお礼の意を表します。

「感謝」「恐縮」「両方言う」人からみると、「両方言わない」人は、とお礼を言わない人に見られるかもしれません。しかし、お礼表現が地域によって違うということを知っていれば、それがお礼の意を表していることに気が付くでしょう。

最初の話にもどれば「それが普通と思っていたので、意識して考えたことがない」ということは、ものの言い方にもそれが言えます。

地域によって、ものの言い方が違うことを、認識して、自分のものの言い方の特徴をつかむことができれば、無用なコミュニケーション摩擦は避けられることが多いのではないかと本書を読んで、そう感じました。



『ものの言いかた西東』

小林 隆著 澤村 美幸著
岩波書店

請求記号：818/Ko12



■書評大賞 応募締め切り 10月14日(火)です■

原稿の Word ファイルをメールに添付して図書館情報センター宛に送信してください。

●送付先 e-mail : lib-c@ssjc.ac.jp 【図書館情報センター】

●件 名 : 「書評大賞（学籍番号：氏名）」

応募要件など、詳しくは書評大賞ポスターをご覧ください。



■図書館より “調べもの用リンク集” のご案内■

図書館情報センターのホームページに「調べもの用リンク集」

があることをご存じですか？本を探す時にとても便利なリンク集です。

なかでもおすすめが、“福島県内図書館横断検索”です。

県内の図書館を一気に検索することができます。

検索したい図書館に☑を入れて選択して検索することもできますよ。

探したい本がある時、ぜひご活用ください。

Library News No.50 桜の聖母短期大学図書館情報センター

https://www.sakuranoseibo.jp/library_information_center/

* 図書館ホームページにて Library News のバックナンバーを公開中です！
新着図書などもご覧いただけます。

HP も
見てね♪

